

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満閲覧禁止

！
刀斬り表現注意



蜂須賀虎徹 × 長曾祢虎徹
浦島虎徹 × 長曾祢虎徹



悪いのは全部おれです
俺 俺

わ
る
た
た

・ 蜂 × 長 & 浦 × 長

・ バッドエンド

・ 刀折 表現有り

・ 首絞め 表現有り

・ 別発刊「手のひらの傷が癒えた頃」
と少しだけ話が繋がっています。

(読まなくても大丈夫です。)





何だ急に藪から棒に…

何やら妙な事を言っているらしいが、
ついに現実
に嫌気がさしたか？

ゴゴゴ
ゴゴゴ



俺は真作だぞ

贗作？

けろっ



なあ、いい加減
兄弟なんだから
仲良くしないか？

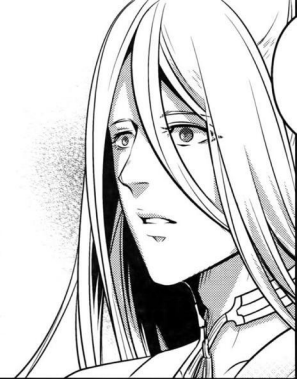
気色の悪い事を
言うな贗作の分際で！

ハナ
ハナ



今のうちに
訂正するなら
魔刀だけは見逃して…

いや、いや！
待って待って！ほら見ろ



ほら



翠目…?

な?
この目が
何よりの証だろ?



なんだ、
何か変か?

変かって…

違う



確かに歴史の上だと
諸説あると
言われているが

こうして証拠も
ある訳だし、
いい加減認めてくれも
いいんじゃないか

いや、
あ…?



おい、

大丈夫か？



俺の記憶の中此奴は確かに

金眼
偽物だった筈だ！

如何なってる？



浦島？

そうだ、
浦島が何処にも居ない
そうなんだが知らないか？



浦島なら
居たぞ

何処に？



あ…いや…

何故？何が一体
どうなっているんだ

まさか時間進行軍の仕業？
いや、奴らが本丸にまで侵入して
こんな事をする理由がない

いや、
でも今はそれより

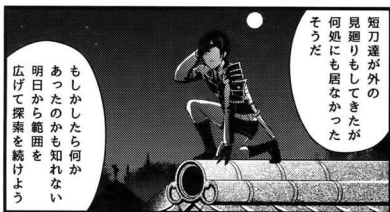


結局浦島は
本丸の何処にも居なかった



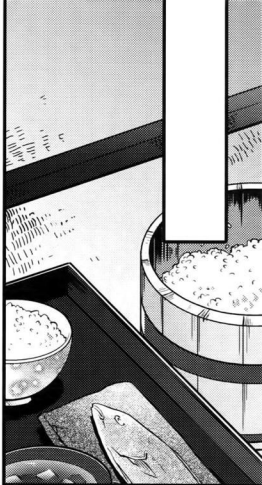
夕飯時になっても
出てこないなんて
何処に行ってしまったん
ですかね？

んもー馬小屋掃除
1人じゃ大変
でしたよー



短刀達が外の
見回りもしてきたが
何処にも居なかった
そうだ

もしかしたら何か
あったのかも知れない
明日から範囲を
広げて探索を続けよう



…おかし
い



てつきり腹が減ったら
帰ってくると思ってたんだが
いよいよ楽観視
出来なくなってきたな…

ああ…
そうだな…

色々おかし
浦島が居なくなったり
長曾祢虎徹が真作になったり：

一体何が
あった？



※現在加州が折れたショックで安定が壊れています (別誌の手のひらの巻が書えた頃を参照)

そうだ
奴の事だけを取れば
状況は何も悪くなって無い

むしろ
奴が目障りな
置作で無いのなら
好都合な位じゃないか

何もわからないなら
いっそ今は
気にしない事にしよう…





結局浦島は
何処に行ったん
だろうなあ



110A

119A

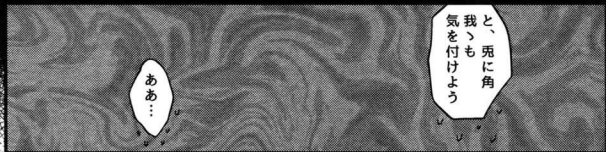
110A!



敵のせいじゃ
無いかもよ



考えたくないが
最悪1人の処を
敵の闇討ちで…



ああ…

と、兎に角
我々も
気を付けよう

長曾…

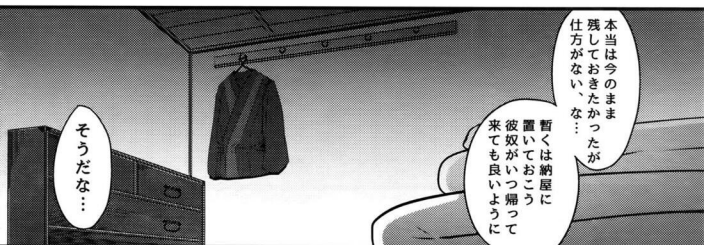
兄上

だから、
せめて兄ちゃん
とかつて呼んでくれ

兄上は
ちよつとなー

む、すまん…







まあ片付ける
手間が省けると
思えば：

ん？

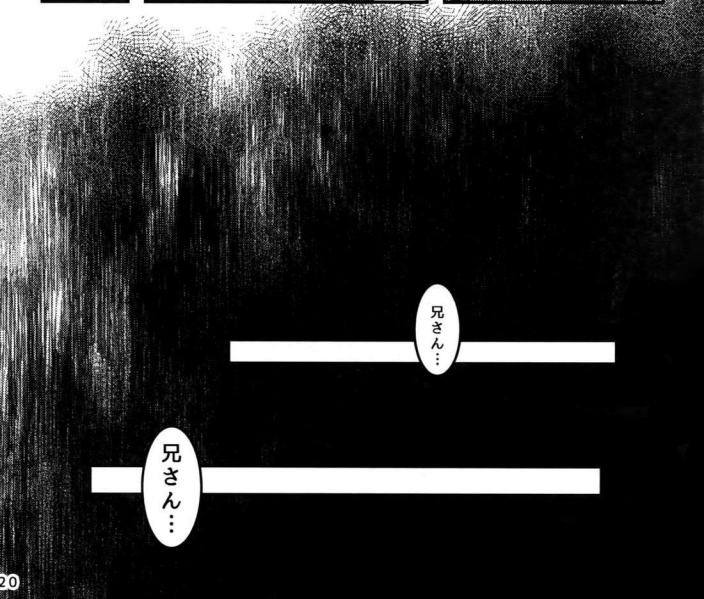
とはいえ
彼奴の私物は
そんなに多く無いな



彼奴、
手紙なんて書く
ようなキャラじゃ：

ハッ...





兄さん...

兄さん...

兄さん…

もう止めよう…

だ…ツ

だいしょ…

もっと…





お前に謝りたい
事があるんだ

先日……
浦島の部屋を
掃除していた時

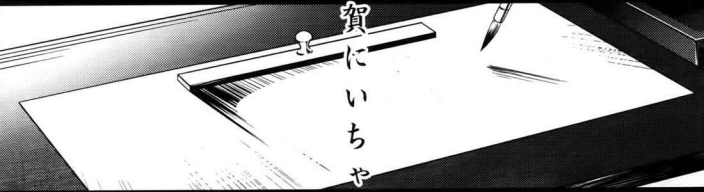
お、お前宛の
手紙を見つけた

悪いと思ったが
お前に隠して
中を見てしまった

今からツ
全て話すから
どうか黙って聞いてくれ

……?

なにを……?

A black and white illustration of a desk. In the center is a notepad with a metal clip on the left side. To the right of the notepad is a pen and a pencil. The background is dark, and the desk surface is light. The text is written vertically in the center of the image.

「蜂須賀にいちやんへ」

「この手紙を読む頃には、

俺はもう此処には居ません。」

「きつと皆に迷惑をかけたでしょう。」

突然の事だったので、
済まない事をしたと
代わりに伝えて
おいて下さい。」

「俺は蜂須賀にいちやんの事も大好きだけど、

行こっか

長曾祿にいちやんの事を愛しています。」

すまない
浦島

おれは本当は…

蜂須賀虎徹が
好きなんだ



長曾祢
にいちちゃん

...



俺と一緒に
打ち直して
もらおう





元は良いんだ

下り！

真作の俺と混ざれば
きつと長曾祢にいちちゃんも
真作になれる

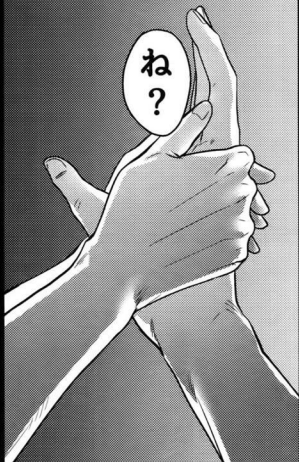


そうすれば
蜂須賀にいちちゃんも
きつと長曾祢にいちちゃんを
認めてくれる、
愛してくれる

俺も大好きな
長曾祢にいちちゃんと
一つになれる

皆、幸せに
なれるよ





「だから、

長曾祢にいちちゃんの
願い事を叶えてあげたいと
思いました。」

「本当は俺が
長曾祢にいちやんの
一番になりたかったけど」

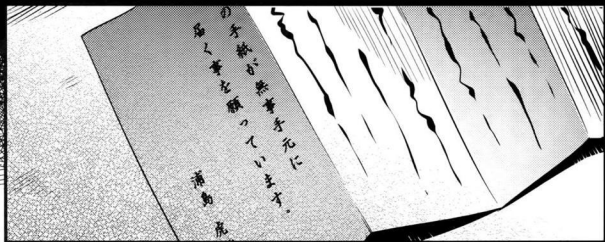
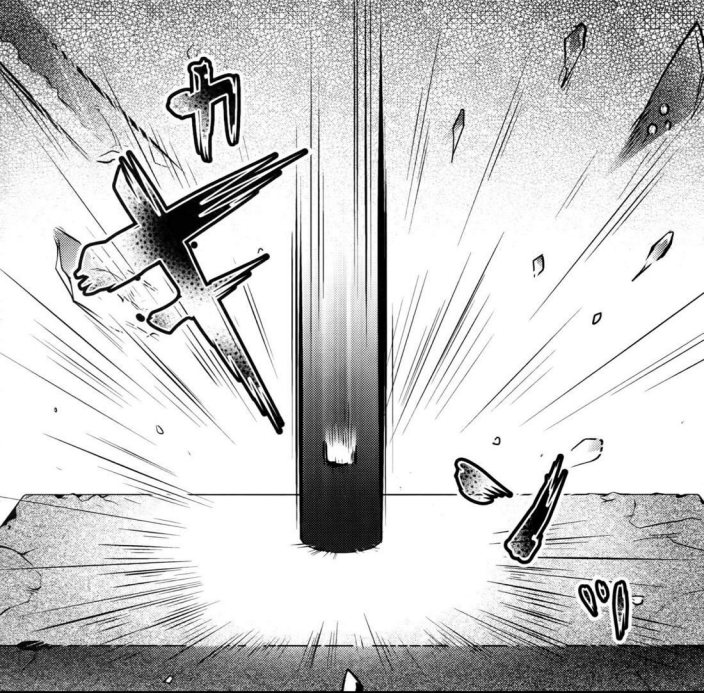
無理みたいなので、
別の形で一緒になる
事にしました。」

「俺から言い出しましたです。
長曾祢にいちやんは
何も悪くありません。」


「長曾祢にいちやんの中に俺も居ます。
だから、俺の分まで愛してあげてください。」

弟としての最後のお願いです。」





全て思い出した



あの時
浦島を止められるのは
俺だけしか
居なかったのに

有ろう事か、
俺は浦島の話を呑んだ
あんな夢物語のような話を

だがその夢物語が
現実になって
出来たのが



おれ
俺
だ



蜂須賀頼む

これが最後の頼みだからどうか応えて欲しいか



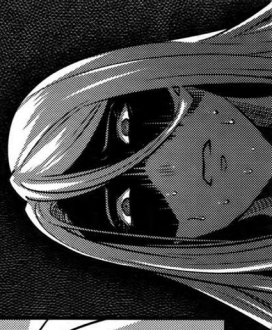
この翠目は俺のじゃ無い

彼奴の目だつたんだ



このまま俺を折ってくれ





わるいこだれだ

2017/3/20発行

発行者：××コロリ/小虎

連絡先：syaofoo2000@yahoo.co.jp

印刷所：K9様

多分、続きます



2017/××korori